



2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月9日

上場会社名 株式会社クリーク・アンド・リバー社

上場取引所 東

コード番号 4763 URL <https://www.cri.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）黒崎 淳

問合せ先責任者 （役職名）執行役員 （氏名）枋尾 有紀 TEL 03-4550-0011

半期報告書提出予定日 2025年10月10日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年2月期中間期	28,092	8.7	2,138	△2.6	2,112	△6.8	2,214	50.7
2025年2月期中間期	25,836	2.3	2,195	△15.6	2,265	△13.7	1,470	△14.4

（注）包括利益 2026年2月期中間期 2,230百万円（45.3％） 2025年2月期中間期 1,535百万円（△12.9％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	104.72	104.49
2025年2月期中間期	68.22	67.96

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年2月期中間期	47,856	17,426	35.9
2025年2月期	27,078	16,012	58.6

（参考）自己資本 2026年2月期中間期 17,195百万円 2025年2月期 15,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	41.00	41.00
2026年2月期	—	0.00			
2026年2月期（予想）			—	45.00	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	60,000	19.3	5,000	38.3	5,000	35.3	3,200	42.1	149.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間連結会計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) 株式会社T&Wオフィス、株式会社高橋書店、除外 1社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年2月期中間期	23,009,000株	2025年2月期	23,009,000株
2026年2月期中間期	1,858,309株	2025年2月期	1,859,989株
2026年2月期中間期	21,149,678株	2025年2月期中間期	21,549,857株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(収益認識関係)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、インバウンド需要の継続などにより、一部に回復傾向がみられるものの、物価上昇による個人消費の低迷など、先行きは不透明な状況が続いております。また、為替相場の動向や長期化するロシア・ウクライナ情勢、中東情勢の地政学リスク、米トランプ政権による関税措置の影響等、依然として社会や経済環境を注視していく必要があります。

このような環境の中、当社グループは「人の能力は、無限の可能性を秘めています。私たちは、その能力を最大限に引き出し、人と社会の幸せのために貢献します。」を統括理念として掲げ、事業を運営してまいりました。当社グループは、全37社・18分野にわたり約41万人のプロフェッショナルネットワークを有しております。ネットワークするクリエイターや医師、ITエンジニア、弁護士、会計士、建築士、ファッションデザイナー、シェフ、研究者等の専門的な能力を有するプロフェッショナルへのニーズは底堅く推移しております。

当中間連結会計期間は、主要なクリエイティブ分野（日本）及び医療分野を中心に着実に利益成長を実現し、概ね計画通りに推移いたしました。2025年3月に連結子会社化した株式会社T&Wオフィスを持株会社とする高橋書店グループ5社については、第1四半期より貸借対照表に含めておりますが、決算日の関係により損益への影響は、当中間連結会計期間からとなります。手帳や日記、カレンダーなどの企画・編集・出版を主要事業とする高橋書店グループは、出版業界特有の商習慣により当中間連結会計期間は出荷した商品の返品が集中する時期となるため、営業損益及び経常損益において一時的にマイナス要因となっておりますが、通期では安定した収益確保を見込んでおります。当中間連結会計期間における高橋書店グループの業績は、売上高361百万円、営業損失378百万円、経常損失383百万円となりました。一方、一時的な赤字及び税効果会計の影響に伴い税金費用が減少したことにより、中間純利益633百万円となりました。

これらの結果、当社グループの当中間連結会計期間の業績は、売上高28,092百万円（前年同期比108.7%）、営業利益2,138百万円（前年同期比97.4%）、経常利益2,112百万円（前年同期比93.2%）、親会社株主に帰属する中間純利益は2,214百万円（前年同期比150.7%）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① クリエイティブ分野（日本）

クリエイティブ分野（日本）は、グループの中核となる当社を筆頭に全6社で構成しております。映像、ゲーム、Web、広告・出版等のクリエイティブ領域で活躍するクリエイターを対象としたプロデュース、ライツマネジメント、エージェンシー事業を展開しております。

当中間連結会計期間におけるクリエイティブ分野（日本）の業績は、映像、ゲーム、Web等の主力分野が堅調に推移し、売上高19,113百万円（前年同期比109.4%）、セグメント利益（営業利益）1,335百万円（前年同期比115.8%）となりました。

② クリエイティブ分野（韓国）

クリエイティブ分野（韓国）は、連結子会社 CREEK & RIVER ENTERTAINMENT Co., Ltd.を中心に2社で構成しており、クリエイティブ分野（日本）と同様のビジネスモデルを韓国にて展開しております。主な活動分野は、映像分野と出版分野であり、テレビ局への人材派遣やオリジナルコミックの企画・制作等を展開しております。

当中間連結会計期間におけるクリエイティブ分野（韓国）の業績は、売上高1,402百万円（前年同期比88.9%）、セグメント損失（営業損失）16百万円（前年同期はセグメント損失11百万円）となりました。

③ 医療分野

医療分野は、連結子会社 株式会社メディカル・プリンシプル社を中心に2社で構成しております。医師の紹介事業や医学生・研修医向けのイベント開催、地域医療周辺サービス事業等を展開しております。

当中間連結会計期間における医療分野の業績は、医師紹介の成約数が前年同期を上回って順調に推移した結果、売上高3,584百万円（前年同期比109.7%）、セグメント利益（営業利益）1,247百万円（前年同期比122.4%）となりました。

④ 会計・法曹分野

会計・法曹分野は、連結子会社 ジャスネットコミュニケーションズ株式会社及び連結子会社 株式会社C&Rリーガル・エージェンシー社が、会計士や弁護士を対象としたエージェンシー事業を中心に展開しております。

当中間連結会計期間における会計・法曹分野の業績は、前期より続く人材紹介サービスの成約長期化の影響により、売上高1,186百万円（前年同期比95.4%）、セグメント利益（営業利益）54百万円（前年同期比88.5%）となりました。

⑤ CRES分野

CRES分野は、連結子会社 株式会社C&R EVERLASTING STORY（2025年6月1日付で株式会社C&Rインキュベーション・ラボより社名変更）を中心に、2025年3月に連結子会社化した高橋書店グループを含めた全6社で構成しております。連結子会社 株式会社C&R EVERLASTING STORYは、事業承継・再生支援、投資・ファンド・M&Aアドバイザリー事業、事業戦略コンサルティング事業等を展開しております。当社グループがネットワークするプロフェッショナルの知恵・経験といった未来への財産を活かしながら、新たな事業承継の形を作り出し、中小企業の「事業承継」問題という社会課題の解決に取り組んでおります。

なお、高橋書店グループの業績は当中間連結会計期間より連結損益に反映され、のれんの償却費用等が計上されております。

当中間連結会計期間におけるCRES分野の業績は、売上高389百万円（前年同期は売上高5百万円）、セグメント損失（営業損失）467百万円（前年同期はセグメント利益11百万円）となりました。

⑥ その他の事業

その他の事業は、全19社で構成しております。成長著しいIT分野やAI/DX分野、衣食住に関わるファッション分野、建築分野、アグリカルチャー分野での事業展開に加え、新たな事業の創出やプロフェッショナル・クライアントの課題解決の一助となるサービスの提供を推進しております。当社グループの連携を強化しながら業容拡大に取り組んでおります。

当中間連結会計期間におけるその他の事業の業績は、売上高は順調に増加している一方で、引き続き事業拡大に向けた積極的な投資を行っており、売上高2,416百万円（前年同期比106.7%）、セグメント損失（営業損失）2百万円（前年同期はセグメント損失36百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末より16,805百万円増加し37,604百万円となりました。これは、主として高橋書店グループの連結子会社化に伴い、現金及び預金が増加したことによるものであります。

当中間連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末より3,971百万円増加し10,251百万円となりました。これは、主として高橋書店グループの連結子会社化に伴い、有形固定資産及び繰延税金資産が増加したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末より19,255百万円増加し29,539百万円となりました。これは、主として高橋書店グループの連結子会社化に伴い、短期借入金が増加したことによるものであります。

当中間連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末より109百万円増加し891百万円となりました。これは、主として繰延税金負債が増加したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末より1,413百万円増加し17,426百万円となりました。これは、主として親会社株主に帰属する中間純利益を計上したことにより利益剰余金が増加した一方で、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2025年4月10日に発表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,807,120	26,908,328
受取手形、売掛金及び契約資産	6,701,971	8,670,173
商品	10,664	8,307
製品	89,482	435,806
仕掛品	282,348	315,131
貯蔵品	3,856	37,311
その他	948,244	1,278,378
貸倒引当金	△44,753	△48,750
流動資産合計	20,798,934	37,604,687
固定資産		
有形固定資産	1,259,588	2,536,028
無形固定資産		
のれん	293,741	842,270
ソフトウェア	987,585	897,362
その他	19,886	12,950
無形固定資産合計	1,301,213	1,752,582
投資その他の資産		
投資有価証券	1,257,173	1,434,278
出資金	335,560	335,995
敷金及び保証金	891,301	990,702
繰延税金資産	463,427	1,986,541
その他	875,097	1,324,816
貸倒引当金	△103,670	△109,261
投資その他の資産合計	3,718,889	5,963,071
固定資産合計	6,279,691	10,251,682
資産合計	27,078,626	47,856,370
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,167,630	4,163,879
短期借入金	3,773,106	17,673,106
1年内返済予定の長期借入金	22,090	71,230
未払法人税等	579,050	782,101
未払消費税等	495,523	716,014
未払費用	783,614	853,141
賞与引当金	404,931	469,872
返金負債	18,151	1,771,593
預り金	181,294	1,837,872
その他	858,683	1,200,297
流動負債合計	10,284,075	29,539,109
固定負債		
長期借入金	372,170	317,350
退職給付に係る負債	83,507	68,863
株式給付引当金	299,062	314,954
繰延税金負債	922	84,559
その他	26,218	105,375
固定負債合計	781,880	891,103
負債合計	11,065,956	30,430,212

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,177,194	1,177,194
資本剰余金	2,465,862	2,465,862
利益剰余金	14,739,024	16,060,797
自己株式	△2,697,156	△2,695,400
株主資本合計	15,684,925	17,008,454
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,024	87,288
為替換算調整勘定	114,628	99,288
その他の包括利益累計額合計	191,652	186,576
新株予約権	1,750	1,750
非支配株主持分	134,341	229,377
純資産合計	16,012,669	17,426,157
負債純資産合計	27,078,626	47,856,370

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	25,836,041	28,092,553
売上原価	16,039,395	17,604,961
売上総利益	9,796,646	10,487,591
販売費及び一般管理費	7,601,312	8,348,695
営業利益	2,195,333	2,138,896
営業外収益		
受取利息	5,607	18,947
受取配当金	6,921	12,770
保険解約返戻金	62,500	45,410
助成金収入	8,225	12,122
雑収入	2,328	8,861
その他	1,909	4,668
営業外収益合計	87,492	102,781
営業外費用		
支払利息	6,827	113,177
投資事業組合運用損	5,463	275
自己株式取得費用	2,983	—
持分法による投資損失	334	15,848
その他	1,388	80
営業外費用合計	16,996	129,382
経常利益	2,265,829	2,112,295
特別利益		
固定資産売却益	254	—
投資有価証券売却益	2,408	196
移転補償金	12,848	—
受取精算金	—	56,685
役員退職慰労引当金戻入額	—	6,585
特別利益合計	15,512	63,467
特別損失		
固定資産除却損	743	3,814
固定資産売却損	—	0
投資有価証券売却損	—	910
和解金	4,453	1,200
事務所移転関連損失	7,455	—
事業撤退損	5,632	—
特別損失合計	18,285	5,925
税金等調整前中間純利益	2,263,056	2,169,837
法人税、住民税及び事業税	741,141	195,224
法人税等調整額	47,688	△260,584
法人税等合計	788,829	△65,359
中間純利益	1,474,227	2,235,196
非支配株主に帰属する中間純利益	4,201	20,488
親会社株主に帰属する中間純利益	1,470,025	2,214,708

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年8月31日）	当中間連結会計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年8月31日）
中間純利益	1,474,227	2,235,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,338	10,263
為替換算調整勘定	52,636	△15,340
その他の包括利益合計	60,975	△5,076
中間包括利益	1,535,202	2,230,120
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,531,000	2,209,631
非支配株主に係る中間包括利益	4,201	20,488

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当中間連結会計期間より、新たに設立した株式会社URS Games及び、当社の連結子会社である株式会社C&R EVERLASTING STORYが新たに株式を取得した株式会社T&Wオフィス（高橋書店グループ）を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当中間連結会計期間の期首から適用しています。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っています。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2024年3月1日 至 2024年8月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	クリエイティブ 分野 (日本)	クリエイティブ 分野 (韓国)	医療分野	会計・法曹 分野	CRES分野	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	17,476,926	1,577,100	3,267,949	1,243,363	5,700	23,571,039	2,265,001	25,836,041	—	25,836,041
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	42,689	—	—	4,108	15,000	61,797	140,937	202,735	△202,735	—
計	17,519,615	1,577,100	3,267,949	1,247,471	20,700	23,632,837	2,405,938	26,038,776	△202,735	25,836,041
セグメント利益 又は損失 (△)	1,152,989	△11,885	1,019,016	61,250	11,875	2,233,246	△36,828	2,196,417	△1,083	2,195,333

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT・ファッション他の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,083千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	クリエイティブ 分野 (日本)	クリエイティブ 分野 (韓国)	医療分野	会計・法曹 分野	CRES分野	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	19,113,761	1,402,121	3,584,539	1,186,233	389,306	25,675,963	2,416,589	28,092,553	—	28,092,553
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	58,395	—	600	5,908	21,202	86,106	160,040	246,146	△246,146	—
計	19,172,156	1,402,121	3,585,139	1,192,142	410,508	25,762,069	2,576,629	28,338,699	△246,146	28,092,553
セグメント利益 又は損失 (△)	1,335,022	△16,747	1,247,606	54,204	△467,495	2,152,590	△2,990	2,149,600	△10,703	2,138,896

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT・ファッション他の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△10,703千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更にに関する事項

2025年3月31日付で当社の連結子会社である株式会社C&R EVERLASTING STORYが株式会社T&Wオフィスの株式を取得したことに伴い、従来の報告セグメントに「CRES分野」を追加しております。このセグメントには株式会社C&R EVERLASTING STORYが展開する事業承継・M&A等の事業が含まれております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「CRES分野」において、2025年3月31日付で当社の連結子会社である株式会社C&R EVERLASTING STORYが株式会社T&Wオフィスの株式を取得したことに伴い、のれんが634,621千円増加しております。

なお、当該のれんの金額は、当中間連結会計期間において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（株式給付信託型ESOP）

当社は、従業員への福利厚生を目的として、信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

（1）取引の概要

当社は、2014年10月2日開催の取締役会決議に基づき、一定以上の職位者に対し経営参画意識の向上を促すとともに、業績へのコミットメントとそのインセンティブを高めるための報酬制度として、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託型ESOP」（以下、「本制度」といいます。）を導入しております。

本制度は、あらかじめ当社が定める株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。

当社が当社従業員のうち一定の要件を充足する者を受益者として、当社株式の取得資金を拠出することにより信託を設定します。当該信託は、株式給付規程に基づき当社従業員に交付すると見込まれる数の当社株式を株式市場において取得します。

当社は、株式給付規程に基づき、従業員に対し業績貢献度等に応じてポイントを付与し、退職時に（累積した）ポイントに相当する当社株式を無償で給付します。

本制度の導入により、当社従業員の業績向上及び株価への関心が高まり、当社従業員がこれまで以上に意欲的に業務に取り組むことが期待されます。

なお、2023年4月6日開催の取締役会において、本制度の継続及び追加拠出について決議しております。

（2）信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する会計処理

会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）を適用し、従来採用していた方法を継続しております。

（3）信託が保有する自社の株式に関する事項

信託が保有する当社株式の帳簿価額（付随費用の金額を除く。）は、前連結会計年度786,211千円、当中間連結会計期間784,455千円で、株主資本において自己株式として計上しております。

また、当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度629,900株、当中間連結会計期間628,220株、期中平均株式数は、前連結会計年度631,024株、当中間連結会計期間629,233株であり、1株当たり情報の算出上、控除する自己株式に含めております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	クリエイティブ 分野(日本)	クリエイティブ 分野(韓国)	医療分野	会計・法曹 分野	CRES分野	計		
財又はサービスの種類								
エージェンシー事業	6,347,941	1,484,882	2,322,372	1,135,514	—	11,290,711	382,640	11,673,351
プロデュース事業	10,477,201	—	626,025	93,736	5,700	11,202,663	1,770,004	12,972,667
ライツマネジメント事業	522,109	91,474	—	—	—	613,583	53,400	666,983
その他の事業	129,674	743	319,551	14,112	—	464,081	58,956	523,038
顧客との契約から生じる収益	17,476,926	1,577,100	3,267,949	1,243,363	5,700	23,571,039	2,265,001	25,836,041
財又はサービスの移転の時期								
一時点で移転される財又はサービス	6,352,154	92,217	3,171,703	461,403	—	10,077,479	963,321	11,040,800
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	11,124,771	1,484,882	96,246	781,960	5,700	13,493,560	1,301,679	14,795,240
顧客との契約から生じる収益	17,476,926	1,577,100	3,267,949	1,243,363	5,700	23,571,039	2,265,001	25,836,041
外部顧客への売上高	17,476,926	1,577,100	3,267,949	1,243,363	5,700	23,571,039	2,265,001	25,836,041

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT・ファッション他の事業を含んでおります。

当中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	クリエイティブ 分野(日本)	クリエイティブ 分野(韓国)	医療分野	会計・法曹 分野	CRES分野	計		
財又はサービスの種類								
エージェンシー事業	6,354,194	1,333,852	2,568,768	1,064,590	18,376	11,339,782	430,600	11,770,382
プロデュース事業	12,029,391	—	669,902	102,339	10,407	12,812,041	1,849,334	14,661,375
ライツマネジメント事業	488,158	68,025	—	—	965	557,149	38,582	595,732
その他の事業	242,015	243	345,869	19,303	359,557	966,989	98,072	1,065,061
顧客との契約から生じる収益	19,113,761	1,402,121	3,584,539	1,186,233	389,306	25,675,963	2,416,589	28,092,553
財又はサービスの移転の時期								
一時点で移転される財又はサービス	6,892,106	68,269	3,450,683	430,842	378,899	11,220,801	1,175,706	12,396,508
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	12,221,654	1,333,852	133,856	755,391	10,407	14,455,161	1,240,883	15,696,045
顧客との契約から生じる収益	19,113,761	1,402,121	3,584,539	1,186,233	389,306	25,675,963	2,416,589	28,092,553
外部顧客への売上高	19,113,761	1,402,121	3,584,539	1,186,233	389,306	25,675,963	2,416,589	28,092,553

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT・ファッション他の事業を含んでおります。